

由紀子さま

松森果林です。

嬉しいえにしメールをいただき、感激のあまり、心が震えました。

朝から一気にタイムマシーン出動です！涙

ゆきさんが教えていらっしゃる国際医療福祉大学大学院の院生さんが

当時、和光でショーウィンドウのデザインを手がけられた

八鳥さまの奥様（藤原瑠美さま）だったということなのですね。

何というご縁でしょう。

当時セイコーエプソンにお勤めだった谷川氏に連れられて

八鳥さまをお訪ねした時のことは、今でもよく覚えております。

田舎育ちで、世間知らずだった22歳の私は、おそれ多くも

「ウィンドウディスプレイといたら八鳥さん」というくらい著名な方を

前にして、自分の稚拙なデザイン画を広げておりました。

思い出すと顔から火が出るくらい恥ずかしいのですが、

わたくし達の「バリアフリーは銀座から」という熱い思いを受け入れ、

見事に形にしてくださったショーウィンドウを見て、万感の思いでした。

あの時の、勢いに任せて書いた手紙まで、保管してくださっていたのですね。

思わず涙が出てきました。

めぐりめぐっての、嬉しいめぐりあいです。

その後私は、株式会社オリエンタルランドに転職し、

ディズニーランドの装飾に関わる一方で、

誰もが楽しめるディズニーランドの提案を続けておりました。

まさに

「ショーほど素敵な商売はない」

と実感できるお仕事でしたが、結婚し、子どもが生まれたのを機に退職しました。

現在は誰もが楽しく暮らせる社会にしたいと、フリーランスで

ユニバーサルデザインのアドバイザーとして

大学講師、講演活動、執筆活動等をおこなっております。

時には、NHK「ろうを生きる 難聴を生きる」で司会をつとめ、

羽田空港新国際線ターミナルのユニバーサルデザイン設計などにも関わってきました。

「和光のショーウィンドウで愛を語るマネキン」は
私にとって

「前向きに提案をしていけば必ず社会は変わる」と
実感したことのひとつです。

それ以来、当事者の立場から、あらゆる場で様々な提案をさせていただき
今に繋がっています。

「誰でも、手話でありがとができる社会に！」

「もっと楽しくコミュニケーションを！」

「テレビCMにも字幕を！！」

とテーマは増えるばかり、

まさに毎日がショーの様でワクワクの連続です。

和光のショーウィンドウは今も私の原点の一つで
毎週のように行っております。

改めて様々な方々との出会いとえにし、関わりの中で
支えられてきているのだと、皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

嬉しいご連絡を、本当にどうもありがとうございました。

どうか、どうか星川さんや後藤さん、

藤原瑠美さま、そしてご主人の八鳥さまにもよろしくお伝えくださいますように。

取り急ぎお礼まで

松森果林 Karin Matsumori

Office

〒273-0012 千葉県船橋市浜町二丁目 2-1-1512

メール：karin@p-rism.nir.jp

ブログ：http://d.hatena.ne.jp/karinmatasumori/

誰でも英語でThankyouといえるように誰でも手話で「ありがとう」ができる社会へ
「誰でも手話リングル」（明治書院より）